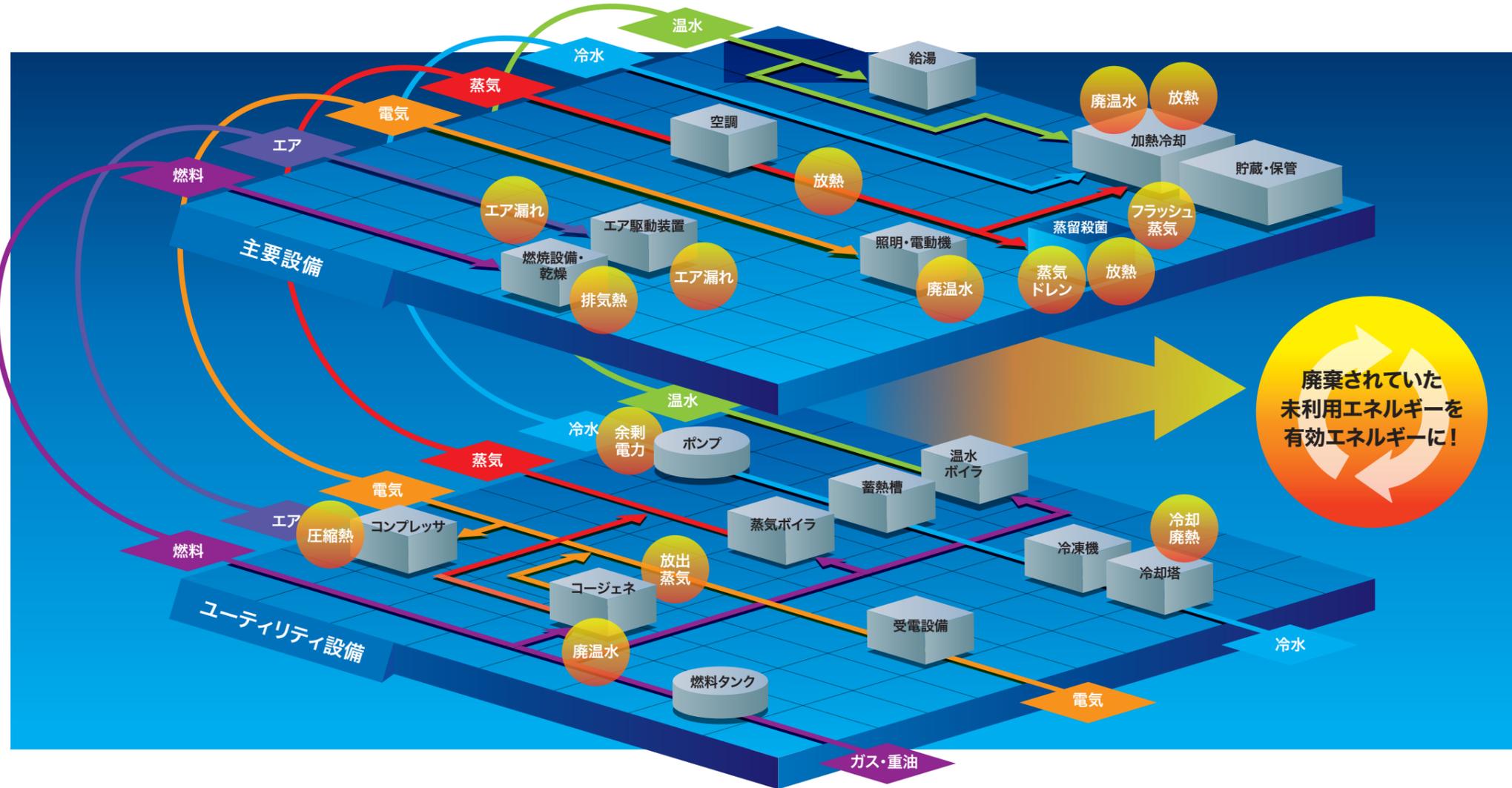


## ミウラに根づく「テクノサービス」で お客様のさまざまな問題を解決するミウラの総合力



「世界中のお客様に省エネルギーと環境保全でお役に立つ」という理念を掲げ、お客様が抱えられている問題を解決する提案＝トータルソリューションで、お客様をご支援しています。ボイラのみならず食品機械、メディカル機器や船用機器など、当社の多岐にわたる事業展開の経験をもとに、お客様に最適な省エネや環境改善プランを、全国の営業・フィールドエンジニア、技術・製造が一体となり、ベストミックスでご提案できるのが当社の強みです。このような、お客様のニーズに寄り添う姿勢の基盤には、当社独自の「テクノサービス」という考え方があります。「テクノ」とはお客様に役立つ技術のことであり、「サービス」はお客様に愛され、信頼されること。この2つが高いレベルでかけ合わさったものが「テクノサービス」であり、創業時から今も従業員の中に息づき、「ミウラの総合力」としてお客様へご提供し続けています。

創業当時、単純な構造のZP型からスタートした蒸気ボイラをお客様の要望に応え、大容量化・高効率化・小型化・高性能化を妥協のない実験と工夫で実現してきました。また、性能を維持して価格を抑える製造技術、ミウラならではの技術に対するこだわりが「テクノサービス」として製品開発やサービスの開発へも、脈々と受け継がれています。

今、世界はカーボンニュートラルに向かって大きく動きだしています。ミウラでもカーボンニュートラルに向けたさまざまなソリューションをお客様へご提供すべく従来技術の応用、新技術の開発に力を注いでいます。

### 営業担当者からのメッセージ

#### 診断力と商品ラインアップの豊富さがミウラの強みです



東京MI営業2部  
2課課長  
鈴木 栄紀

私は15年間、商品開発に携わった後、省エネ診断部で工場調査を5年経験し、診断から導入後の実証の業務を担っています。この経験を活かして、現在は燃料価格高騰への対応やCO<sub>2</sub>削減に向けて、ヒートポンプやコンプレッサ、蒸気関連を軸とした営業に注力しています。これらの導入には工場診断が必須であり、その技術と商品ラインアップの豊富さがミウラの強みとなっています。実際、ヒートポンプやコンプレッサ、水、食品機械などを併せ持ち、すべての機器を診断できる会社はほかになく、トータルソリューションを実践する唯一の企業と自負しています。ただし、ボイラは燃焼というメーカー固有の技術が必要なことから、ほとんどのお客様が保守契約をされていますが、ヒートポンプやコンプレッサは、+αの省エネ設備という位置づけから、故障・停止リスクを想定していないお客様もいらっしゃいます。そこで当社は、エネルギー使用状況の「見える化」を提案。エネルギーの無駄や機器故障による損失金額などを実感し、メンテナンスの重要性をご理解いただけるよう努めています。工場全体の省エネを担う仕事は責任も重いですが、それがやりがいに繋がっています。



小型貫流蒸気ボイラSQ-3000AS

### 開発者からのメッセージ

#### グリーン燃料ボイラをさらに進化させることで、カーボンニュートラルに貢献していく



ボイラ技術部  
CNボイラ技術課  
課長  
佐々木 務

当社は2017年1月に日本で初めて100%の水素燃焼が可能な水素燃料貫流ボイラを商品化しており、すでにお客様の工場で使用いただいています。開発当時は、ボイラ燃料として水素を使用するための安全基準というものがまだなく、自社で基準を構築する必要があり、さまざまな業界にヒアリングするところからスタートしました。これが大変でした。さらに設計を進めるなかで、ボイラの燃焼状態を監視する検出器の仕様の不足が見つかりました。その課題を解決できたのがミウラの強みである「自社設計品」です。自社製の検出器を用いたところ、これが問題なく検出できました。当社はメーカーでは珍しく重要部品の内製化を行っているのですが、ミウラの内製技術が役立ったと実感した場面でした。

ミウラが、より安全でより高性能かつ安価に蒸気が出せるボイラを開発・拡販することができれば、地球温暖化防止に貢献できるインパクトは非常に大きなものとなると考えています。今後、お客様がカーボンニュートラル実現を加速していけるよう、水素以外のグリーン燃料を利用したボイラの開発へ積極的に取り組み、社会に貢献していきたいと思っています。



水素燃料ボイラSI-2000AS-H2